

2024年度(第58次)研究助成応募状況

2024年度(第58次)研究助成は、募集を1月10日に締め切ったところ44件の応募がありました。応募の内訳は下表のとおりです。

本事業は“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”分野の常勤研究者および大学院生を対象に研究助成を行うものです。助成金の給付のほか、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。提出された研究成果は審査の上、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点の指定課題を設定しました。

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③心と身体に関するマーケティング研究

応募数(前年度比)

常勤研究者		大学院生		総数(前年度比)
33		11		44(+9)
継続研究数	指定課題数	継続研究数	指定課題数	
19	16	0	2	

2024年度の助成対象研究は、下記のメンバーによる選考委員会を経て3月の理事会において決定されます。

選考委員長	嶋村 和恵	早稲田大学教授
選考副委員長	清水 聡	慶應義塾大学教授
選考委員	青木 貞茂	法政大学教授
選考委員	阿久津 聡	一橋大学大学院教授
選考委員	井上 哲浩	慶應義塾大学大学院教授
選考委員	岸 志津江	東京経済大学名誉教授
選考委員	久保田 進彦	青山学院大学教授
選考委員	里村 卓也	慶應義塾大学教授
選考委員	澁谷 覚	早稲田大学大学院教授
選考委員	田中 洋	中央大学名誉教授
選考委員	吉見 俊哉	國學院大学教授

指定課題の内訳

応募数	部門	件数	指定課題別件数	
18件	常勤研究者の部	16件	指定課題①	3件
			指定課題②	5件
			指定課題③	8件
	大学院生の部	2件	指定課題①	2件
			指定課題②	0件
			指定課題③	0件

Editor's Note

このたび、前任者から編集長を引き継ぐことになりました。最初にバックナンバーを読んだ際は、正直その質の高さに驚きました。前任者の熱い想いも受け継ぎつつ、どうやったら読者の皆様のお役に立てるのかを念頭に、より充実した誌面にしていく所存です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(焼仙草)

リサイクルやリユースなどのサステナブルな取り組みに加え、ビジネス成長という要素を含むサーキュラーエコノミー。この包括的な試みが、人と人とのつながりを増やし、これまでとは異なる視点で、プロジェクトや仕組みを生み出すなど、大きな社会の流れとなることに期待します。

(葡萄)

2024年度研究助成は44件もの応募があり、コロナ禍で落ち込んでいた件数がようやく回復を見せました。人文社会科学の中でも広告・マーケティング領域の研究は、とりわけ人と人とのつながりの中で生まれ、行われる。そのことを改めて思い知らされました。

(ひろた)

昨年末、アドミュージアム東京では「愛と出会えたテクノロジー展」を開催しました。テクノロジーが人間と出会うことで生まれてきた表現作品を実際に見て、触って、体験したりできる本展は好評のうちに終了。今号でご紹介していますが、取材でうかがった「テクノロジーこそ愛だ」という言葉が非常に心に残っています。

(みずさわ)

AD STUDIES 2024年3月25日号 通巻87号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
TEL : 03-3575-1384 FAX : 03-5568-4528
URL : <https://www.yhmf.jp>

発行人 岩下 幹
編集長 小林球一
編集部 岩本紀子、沓掛涼香、小島康平
編集協力 プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+藤田将史、中谷靖子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。